



# 2006年度中間決算説明会

東洋紡

取締役社長 坂元龍三

2006.11.8

# 目次

1. 06年度中間期実績および通期見通し
2. 経営方針：事業ポートフォリオ改革の加速

(補足資料)

1. 時系列データ
2. セグメント別の事業内容

# 1.06年度中間期実績および通期見通し

## (1) P / L

- ・[中間期] 原燃料高騰を跳ね返し、増収・増益
- ・[通期] 3期連続で過去最高益更新を目指す

(億円)

	05年度		06年度		増減(中間期)		増減(通期)	
	中間期	通期	中間期 (実績)	予想	額	率	額	率
売上高	1,963	4,019	2,135 [ 2,050 ]	4,200 当初計画	+172	+8.8%	+181	+4.5%
営業利益 (利益率, %)	148 (7.5)	299 (7.4)	152 [ 150 ] (7.1)	310 (7.4)	+4	+2.9%	+11	+3.7%
経常利益	122	246	128 [ 125 ]	260	+6	+4.8%	+14	+5.8%
当期利益 (1株当たり利益, 円)	43 (6.1)	126 (18.1)	63 [ 50 ] (9.1)	130 (18.7)	+21	+48.7%	+4	+3.2%

為替レート(円/\$)

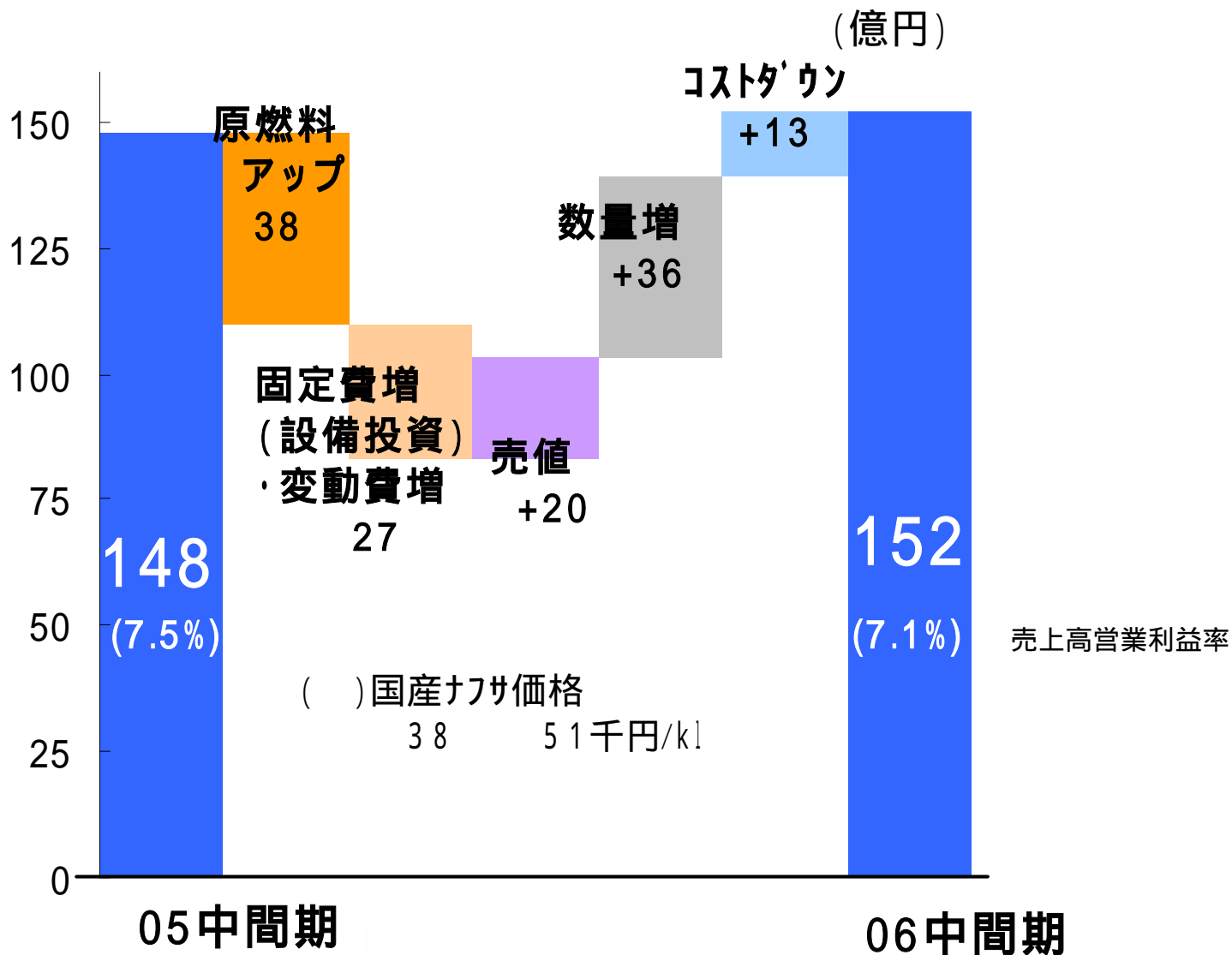
109

114

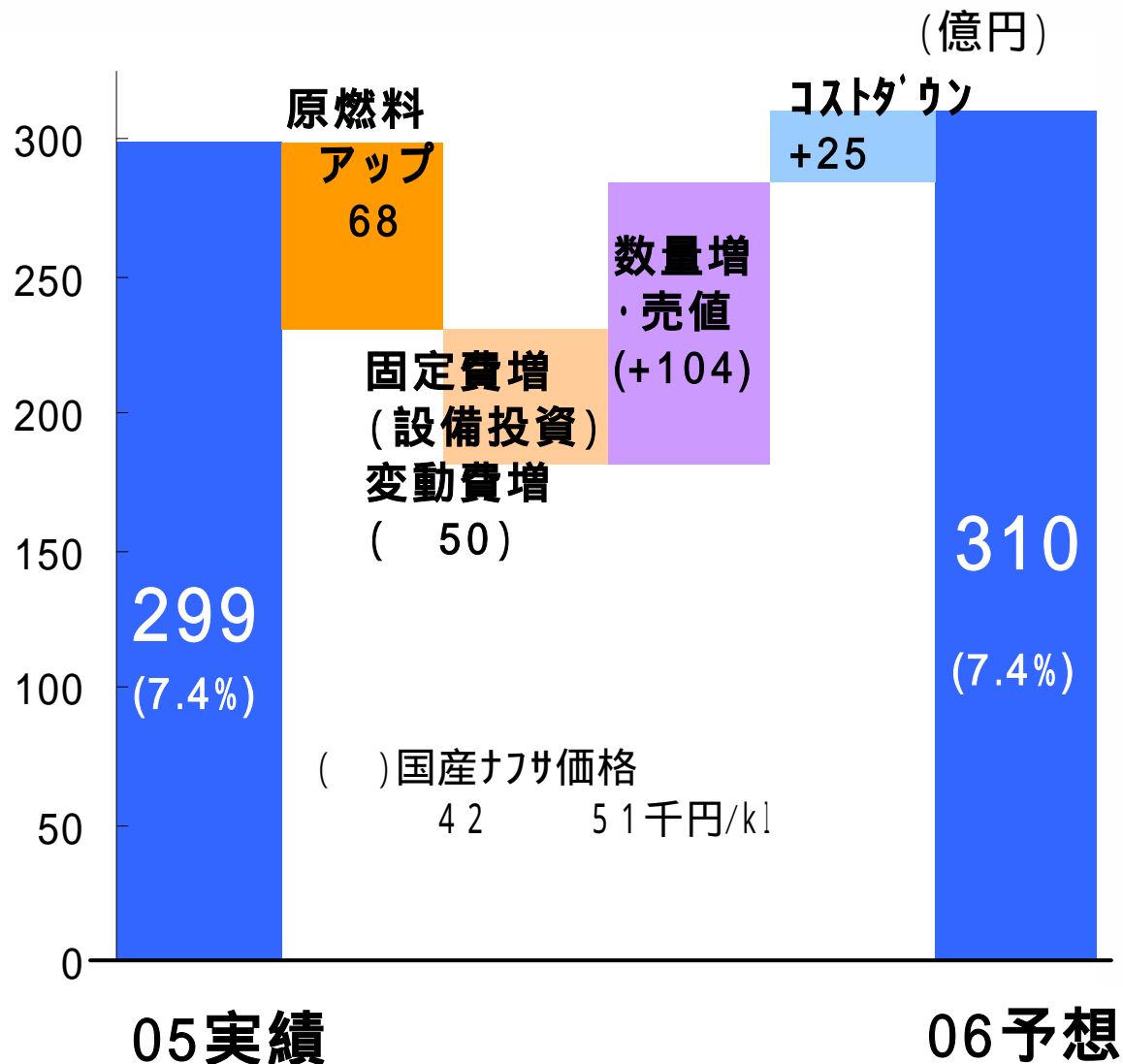
115

114

# 06 中間期実績：前年同期比営業利益分析



# 06通期予想:営業利益分析



(2) B / S

・財務体質改善(継続)

(億円)

	05年度		06年度		増減* 06/9-06/3
	中間期	実績*	中間期* (実績)	予想	
<b>総資産</b> (経常利益ROA%)	5,176 (4.7)	5,148 (4.8)	5,231 (4.9)	-	+83
<b>借入金</b>	2,258	2,062	2,120	2,000	+58
<b>自己資本</b> (自己資本比率%)	1,127 (21.8%)	1,251 (24.3%)	1,261 (24.1%)	-	+10
<b>D/Eレシオ(倍)</b>	2.00	1.65	1.68	1.50	-

自己資本: 少数株主持分を含まない期末純資産

うち新規連結影響

総資産 + 78

借入金 + 36

### (3) セグメント別中間期業績と通期予想

(億円)

	売上高					営業利益				
	05年度		06年度		増減 (通期)	05年度		06年度		増減 (通期)
	中間期	実績	中間期 (実績)	予想		中間期	実績	中間期 (実績)	予想	
フィルム・機能樹脂 (営業利益率)	573	1,164	620	1,270	+106	80	149 (12.8%)	78	156 (12.3%)	+7
産業マテリアル (営業利益率)	324	689	357	740	+51	27	58 (8.4%)	29	63 (8.5%)	+5
ライフサイエンス (営業利益率)	144	297	153	340	+43	27	56 (18.9%)	25	57 (16.8%)	+1
衣料繊維 (営業利益率)	713	1,425	779	1,450	+25	17	34 (2.4%)	24	42 (2.9%)	+8
その他	209	445	226	400	45	13	30	11	22	8
消去・全社						15	28	15	30	2
合計 (営業利益率)	1,963	4,019	2,135	4,200	+181	148	299 (7.4%)	152	310 (7.4%)	+11

## フィルム・機能樹脂

(包装用フィルム、工業用フィルム、エンジニアリングプラスチック、工業用接着剤、印刷材料、アクリレート系樹脂 ほか)

- ・[通期] 包装用フィルムが苦戦も、工業用フィルム、エンブラ、バイロンなど好調。上海紫東(ナイロフィルム)立上げ費用を補って増益
- ・[中間期] 包装フィルムの収益悪化と上海紫東(ナイロフィルム)立ち上げで減益

(億円)

	05年度		06年度		増減(通期)	
	中間期	実績	中間期 (実績)	予想	額	率
売上高	573	1,164	620	1,270	+106	+9.1%
営業利益 (営業利益率)	80 (13.9%)	149 (12.8%)	78 (12.6%)	156 (12.3%)	+7	+4.6%
減価償却費	20	45	32	-	-	-
使用総資本 (営業利益ROA)	1,202 (13.3%)	1,221 (12.2%)	1,302 (12.0%)	-	-	-



産業マテリアル (自動車用繊維資材、スーパー繊維、機能フィルター、不織布 ほか)

- ・ [通期] エアバッグ用基布、フィルター・不織布、スーパー繊維は需要堅調で増益。  
タイヤコードは、原料高で苦戦

(億円)

	05年度		06年度		増減(通期)	
	中間期	実績	中間期 (実績)	予想	額	率
売上高	324	689	357	740	+51	+7.3%
営業利益 (営業利益率)	27 (8.5%)	58 (8.4%)	29 (8.2%)	63 (8.5%)	+5	+8.7%
減価償却費	16	34	16	-	-	-
使用総資本 (営業利益ROA)	770 (7.1%)	785 (7.4%)	812 (7.2%)	-	-	-

## ライフサイエンス

(診断薬用酵素・診断システムなどバイオ製品、  
医薬品製造受託、医用膜、医療用具、アクア膜 ほか)

- ・ [通期] 医用膜の新区分対応本格化、アクア膜大型案件出荷、医薬稼働で増益へ。
- ・ [中間期] 薬価改定による医用膜の一時的落ち込みと医薬立上げ遅れで減益

(億円)

	05年度		06年度		増減(通期)	
	中間期	実績	中間期 (実績)	予想	額	率
売上高	144	297	153	340	+43	+14.6%
営業利益 (営業利益率)	27 (18.5%)	56 (18.9%)	25 (16.3%)	57 (16.8%)	+1	+1.6%
減価償却費	9	19	11	-	-	-
使用総資本 (営業利益ROA)	315 (16.9%)	323 (17.4%)	348 (14.4%)	-	-	-

## 衣料繊維

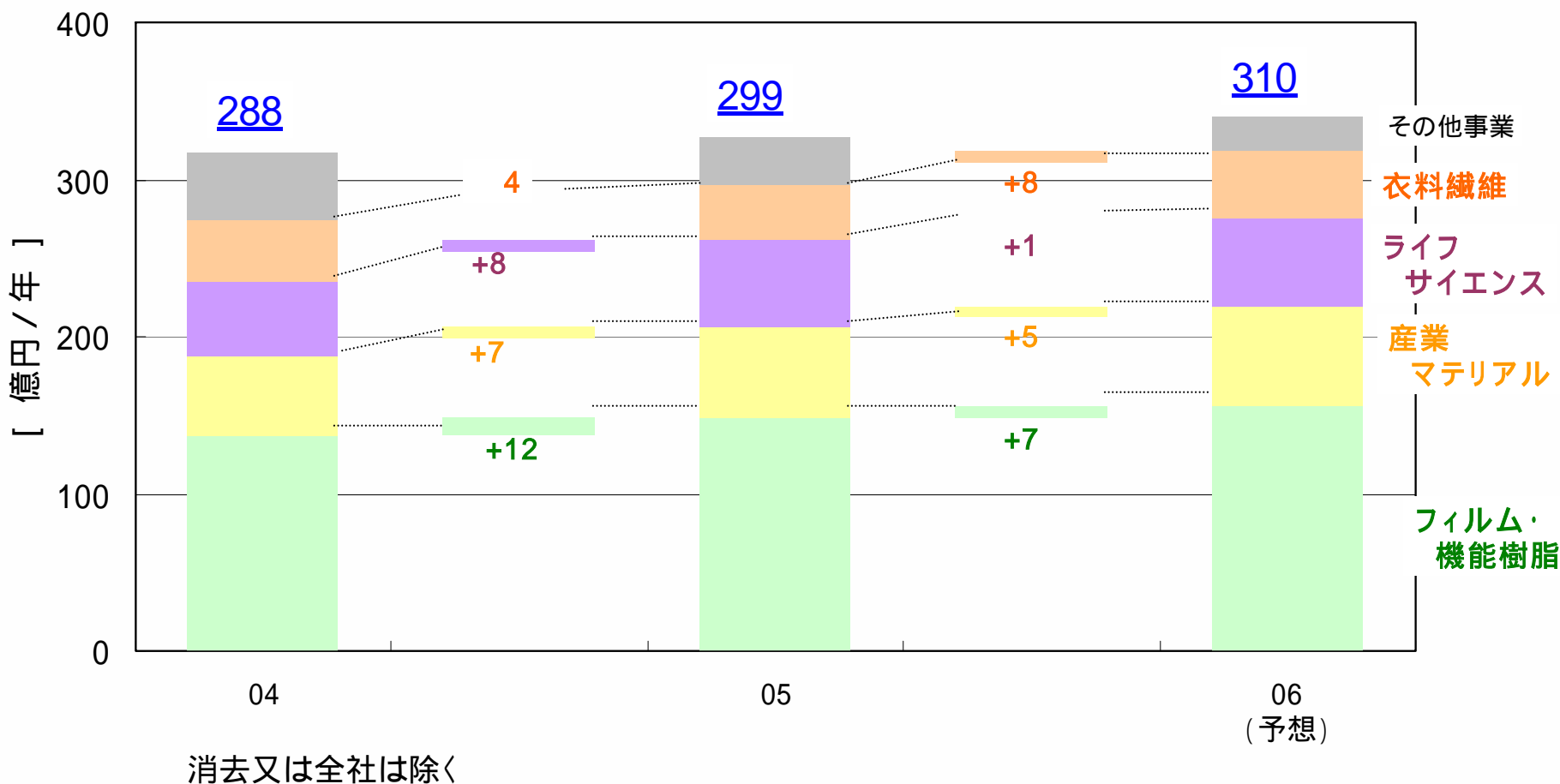
(衣料テキスタイル、アパレル製品、衣料ファイバー、  
アクリル繊維、繊維商社 ほか)

- ・[通期] 構造改善効果と機能衣料好調ほかで収益改善  
対中間期では、エクスランが減益(季節要因)

(億円)

	05年度		06年度		増減(通期)	
	中間期	実績	中間期 (実績)	予想	額	率
売上高	713	1,425	779	1,450	+25	+1.7%
営業利益 (営業利益率)	17 (2.3%)	34 (2.4%)	24 (3.1%)	42 (2.9%)	+8	+23.9%
減価償却費	17	35	14	-	-	-
使用総資本 (営業利益ROA)	1,410 (2.3%)	1,406 (2.4%)	1,390 (3.5%)	-	-	-

# セグメント別営業利益：実績と計画



## 2. 経営方針：事業ポートフォリオ改革の加速

### 課題：

- (1) 成長(スペシャルティ事業)
- (2) 技術力強化
- (3) 資産効率向上(ノンスペシャルティ事業)

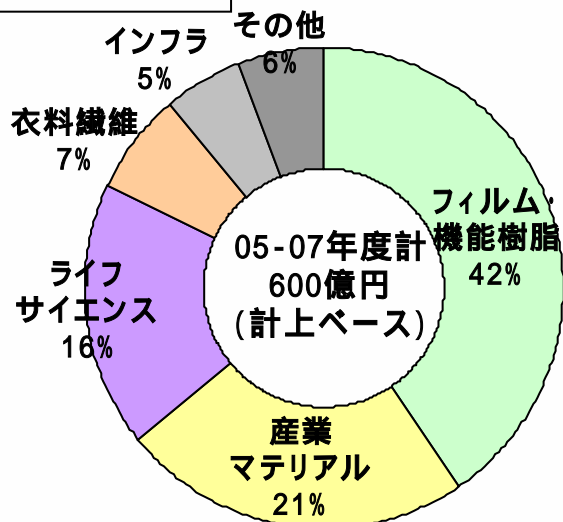
年度 セグメント		05実績		06予想		(億円) 07計画	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
	フィルム・機能樹脂	1,164	149	1,270	156	1,400	170
	産業マテリアル	689	58	740	63	800	73
	ライフサイエンス	297	56	340	57	400	67
	<b>スペシャルティ計</b>	<b>2,150</b>	<b>263</b>	<b>2,350</b>	<b>276</b>	<b>2,600</b>	<b>310</b>
	衣料繊維	1,425	34	1,450	42	1,350	45
	その他(電子部品、インフラ他)	445	30	400	22	350	25
	共通	-	28	-	30	-	30
	<b>合計</b>	<b>4,019</b>	<b>299</b>	<b>4,200</b>	<b>310</b>	<b>4,300</b>	<b>350</b>

# (1) 成長施策

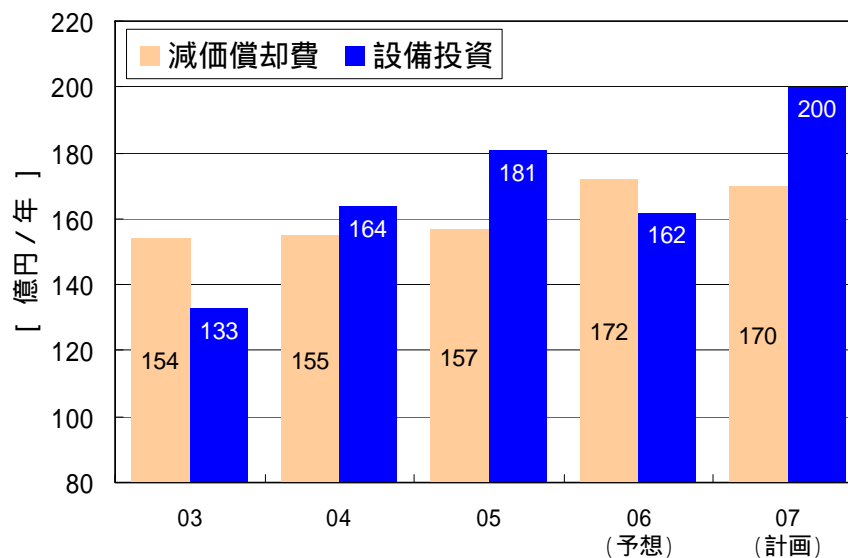
事業	投資内容	投資規模*	能力	稼働時期
液晶・光学用フィルム	敦賀:新系列増設	100億円	10千トン/年	'08/春
ダイニーマ増設 (日本ダイニーマ)	新系列増設	16億円	600トン/年	'08/春
人工腎臓用中空糸膜	能力増強	-	年率6%拡大	逐次
エアバッグ用基布	国内紡糸能力拡大 海外紡糸新設	- -	+2千トン/年 -	07年中 09年(構想中)
共重合ポリエステル (エラストマー他)	重合プラント新設	-	5~10千トン/年	09年(構想中)

\*開示分のみ

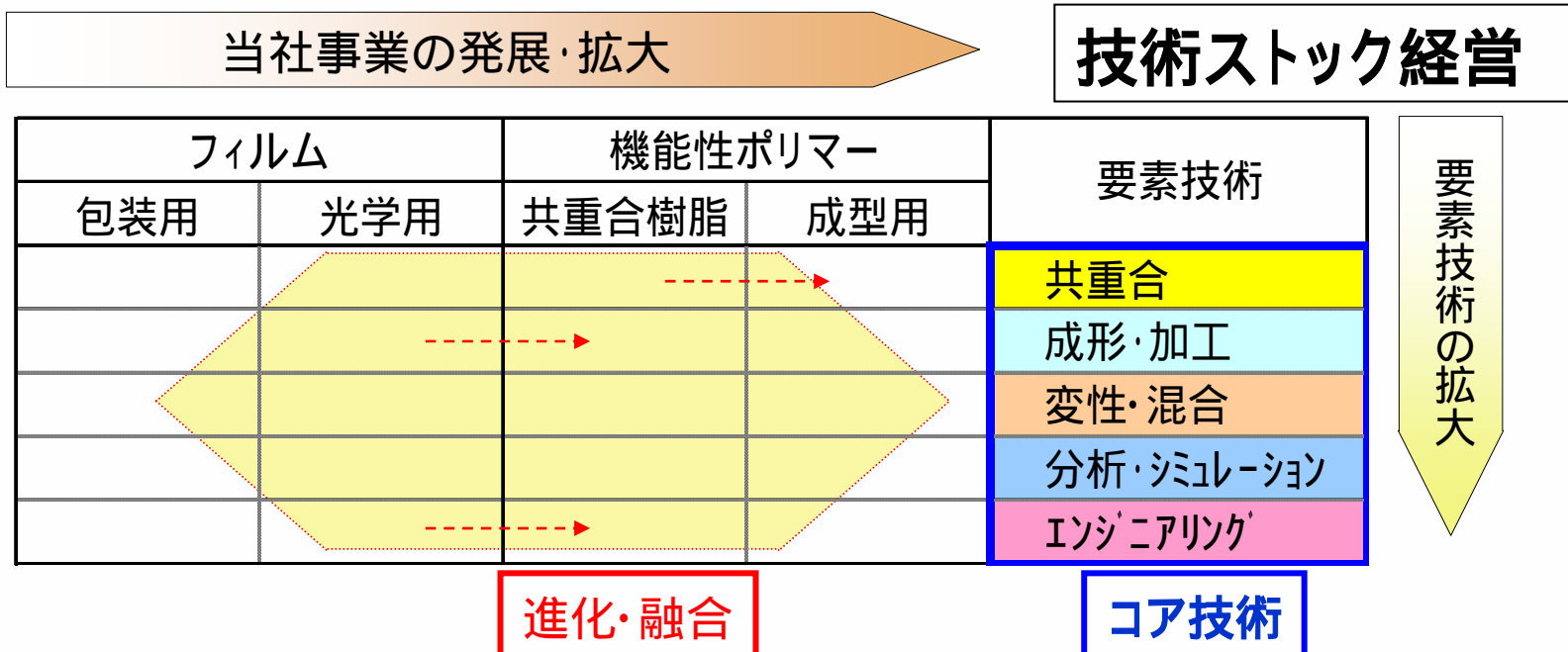
## 設備投資



## 減価償却費と設備投資



## (2) 技術力の強化



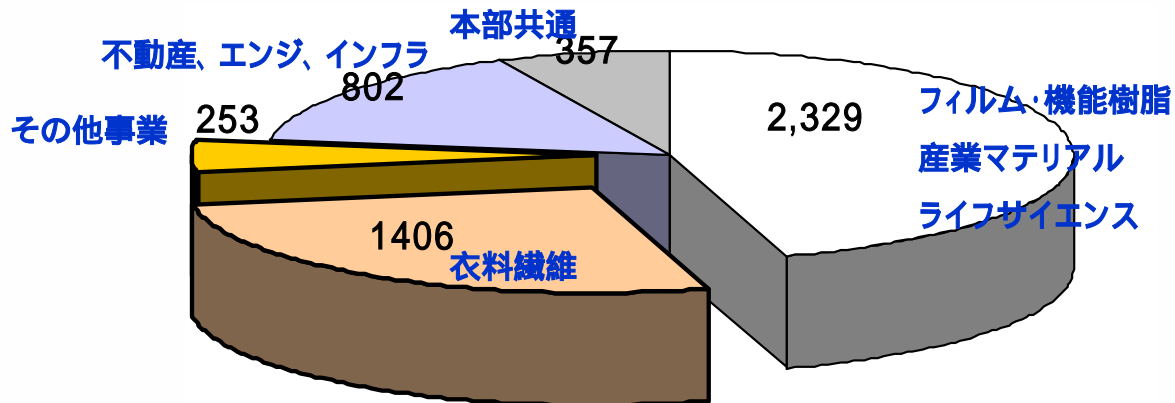
### 仕掛け活動

- ・事業組織再編(技術クラスター)(06/4)
- ・事業開発企画室(06/4)
- ・エレクトロニクス事業開発部(06/9)

- ・生産技術革新活動(06/4～)  
(現場力強化)
- ・社長直轄プロジェクト(05/9～)

### (3) 資産効率(ノンスペシャルティ事業の圧縮)

総資産の配置(2006/3末) 5148 (億円)



事業選択による資産効率向上(営業利益ROA 5%)

- ・衣料繊維およびその他事業の使用資本圧縮
- ・マスタープランに従い実行(08年度末まで)

実施事項(06/5-06/10)

- ・電子部品(組み立て)撤退
- ・スパンデックス自社生産休止決定
- ・関係会社休止ほか(国内3社、海外1社)
- ・日平トヤマ株式譲渡決定



# 補足資料:時系列データ

## 連結決算業績推移

		03年度			04年度			05年度			06年度			
		実績	実績	対前期増減率	実績	対前期増減率	うち上期実績	通期計画	対前期増減率	うち上期実績	対前年同期増減率			
売上高	百万円	373,066	393,686	+5.5%	401,948	+2.1%	196,299	420,000	+4.5%	213,476	+8.8%			
営業利益	百万円	25,856	28,782	+11.3%	29,887	+3.8%	14,817	31,000	+3.7%	15,243	+2.9%			
(営業利益率)		(6.9%)	(7.3%)		(7.4%)		(7.5%)	(7.4%)		(7.1%)				
経常利益	百万円	17,491	21,589	+23.4%	24,580	+13.9%	12,238	26,000	+5.8%	12,831	+4.8%			
(経常利益率)		(4.7%)	(5.5%)		(6.1%)		(6.2%)	(6.2%)		(6.0%)				
当期純利益	百万円	8,762	12,207	+39.3%	12,596	+3.2%	4,269	13,000	+3.2%	6,347	+48.7%			
(当期純利益率)		(2.3%)	(3.1%)		(3.1%)		(2.2%)	(3.1%)		(3.0%)				
1株当たり当期純利益	円	12.63	17.58	+39.2%	18.10	+3.0%	6.14	18.66	+3.1%	9.11	+48.4%			
自己資本当期純利益率		9.3%	11.5%		10.8%									
総資産経常利益率		3.4%	4.3%		4.8%									
総資産	百万円	495,969	511,813	+3.2%	514,791	+0.6%	517,629			523,080				
自己資本	百万円	104,033	107,518	+3.3%	125,143	+16.4%	112,698			126,117				
(少数株主持分を除く)														
自己資本比率		21.0%	21.0%		24.3%		21.8%			24.1%				
1株当たり純資産	円	149.31	154.64	+3.6%	179.59	+16.1%	162.10			181.00				
有利子負債	百万円	240,755	220,981	8.2%	206,172	6.7%	225,752			211,975				
D/Eレシオ	倍	2.31	2.06		1.65		2.00			1.68				
設備投資額	百万円	13,330	16,395	+23.0%	18,131	+10.6%	8,792	16,200	10.7%	7,400	15.8%			
減価償却費	百万円	15,425	15,528	+0.7%	15,656	+0.8%	7,371	17,200	+9.9%	8,283	+12.4%			
研究開発費	百万円	9,043	9,201	+1.7%	10,079	+9.5%	4,857	11,000	+9.1%	5,101	+5.0%			
従業員数	人	9,454	11,468		11,705		11,842			11,547				

## 補足資料:セグメント別の主な事業

### (1) フィルム・機能樹脂

主な事業	事業内容	今後の展開
機能フィルム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・液晶・光学用:バックライト用部材で高シェア(高透明・易接着性)</li> <li>・包装用:総合フィルムメーカー(多様な素材)熱収縮フィルムほか機能フィルムデリバリーシステム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能力拡大(08年稼動10千トン)</li> <li>・易成型PETフィルムの上市</li> <li>・食品包装:機能付与、製品ポートフォリオ改革</li> <li>・海外展開:中国ONY立ち上げ他</li> <li>・非食品分野(産業用)開拓</li> </ul>
機能樹脂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンプラ:自動車部品関連で展開(耐熱エラストマ-、高剛性、良外観とブレンド技術)</li> <li>・バイロン®(工業用接着材、コーティング材):共重合ポリエステルトップメーカー</li> <li>・その他:光機能樹脂、アクリル系樹脂</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代電子材料の事業化(ポリアミドイミド他の耐熱素材)</li> <li>・グローバル供給体制構築、能力増</li> <li>・成長市場(自動車、電子・情報表示)での積極拡大(用途開発、シェアアップ)</li> <li>・耐熱耐水ペルプレンの拡大</li> </ul>

## ( 2 ) 産業マテリアル

主な事業	事業内容	今後の展開
エアバッグ用 基布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノンコートタイプに強み</li> <li>・国内トップシェア(50%)</li> <li>・コスト競争力と品質信頼性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外での生産能力増強</li> <li>・コートタイプへの参入 (カーテンエアバッグ用対応)</li> </ul>
スーパー繊維	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイニーマ®(超高強力ホリエレン繊維) :高強力、耐薬品性、水よりも軽い</li> <li>・ザイロン(高強力、高耐熱性)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新用途開発加速(金属代替ほか)</li> <li>・生産能力増強</li> <li>・次世代品の市場投入</li> <li>・耐熱用途開拓</li> </ul>
機能フィルター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バグフィルター (PPS繊維*:世界60%シェア) :高耐熱、耐薬品、集塵能力 *ホリエレンサルファイト</li> <li>・生産ライン用溶剤回収装置</li> <li>・自動車用各種フィルター :機能素材 + 開発力(顧客対応力)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境浄化・保全ニーズ拡大に対応 国内 + 海外(中国ほか)展開</li> <li>・国産メーカーの海外展開対応</li> </ul>

### ( 3 ) ライフサイエンス

主な事業	事業内容	今後の展開
バイオ・医薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診断薬用酵素(世界20%シェア)</li> <li>・バイオ関連技術の総合力 (培養、精製、遺伝子組換、医薬製造)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合診断システム事業へ</li> <li>・機能物質生産(強み:培養・精製技術)</li> <li>・医薬製造受託(抗体医薬本格化期待)</li> </ul>
医用膜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工腎臓用中空糸膜(CA/CTA*) 世界20%シェア</li> <li>信頼性、モジュールメーカーと連携</li> <li><small>*アセテート/トリアセテート</small></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需要増に応じた能力拡大 (世界市場は年率5%成長)</li> </ul>
アクア膜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海水淡水化用逆浸透膜モジュール(RO) ハイファウリング*に強いCTA中空糸使用</li> <li><small>*耐塩素性(塩素殺菌可能)、長期安定運転性抜群</small></li> <li>中東湾岸地域トップシェア(61%)</li> <li>国内:福岡市の海淡プラント(05/6稼動)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中東湾岸地域での営業力拡充</li> <li>・大型案件対応 能力増強(現在比+50%)</li> <li>・上水・下水・排水膜への参入</li> </ul>

## ( 4 ) 衣料繊維

主な事業	事業内容	今後の展開
機能衣料	快適性素材(スポーツ、インナー、ユニフォーム) 中東民族衣装用生地(現地トップブランド) エクスラン(アクリル繊維)	快適性計測技術と 機能ファイバー・加工技術で新商品
アパレル	アパレル「マンシングウェア」	ブランド力を裏付ける高品質生産
卸売ほか	新興産業グループ	東洋紡と一体で構造改革

### < 衣料関係の製造規模の推移(国内) >

	85年度		95年度		05年度		備考
	設備	(工場)	設備	(工場)	設備	(工場)	
紡績	70.2万錘	(15)	44.0万錘	(11)	10.6万錘	(2)	設備削減
ポリエステル	衣料用	33千ト	24千ト	5千ト	設備(用途) シフト		
長繊維	産資用	5千ト	21千ト	34千ト			
(生産量)	計	38千ト	45千ト	39千ト			

## 本資料取扱い上のご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。